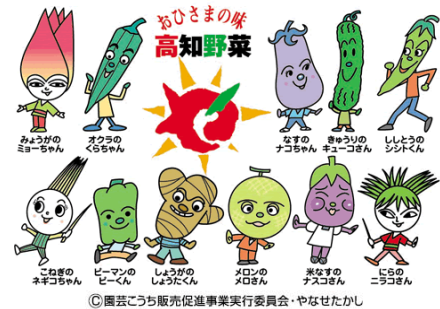


●「食材（もの）と心（ひと）を繋げよう!!」（特別賞受賞）

知事： 地産地消と地産外商の話はおっしゃるとおりで、私も全く同じ考えです。最初に地産地消を徹底していくことがまず第一で、その上で地産外商もやっていかないと高知県はじり貧になるという話をしました。なぜ地産地消を進めるといいのか。安心、新鮮、信用もあるし、食糧自給率が増加することもあるでしょう。併せて、地域の人々が地域のもを食べれば、その地域の生産者が元気になります。お金も儲かり、お互い元気にし合っていこうという発想で、地産地消はいいと思います。

ただ、高知県の経済自体が小さくなってきているので、併せて大切なことは、地産外商、外からお金を稼いでくる力を持つことだと思っています。高知県は、高知県の外とのやりとりで県際収支が赤字です。県内の経済が小さくなっていく上に、県外にどんどんお金が出ていっているから、高知県はなかなか豊かになれないのが現実の話です。でも、愛媛県や香川県は県外とのやり取りで黒字です。例えば、うどんを作ったり、観光客をたくさん呼んできて儲けていたり、いろいろなことをしています。経済を元気にすることがやはり必要で、そのために地産外商を進めることが重要だと思います。どういった地産外商を進めていったらいいのかをぜひ今後も考えて、アイデアを出していただければと思います。チラシを配ってきたことは、本当にすごいですね。それからプリンはおいしそうでした。



© 園芸こうち販売促進事業実行委員会・やなせたかし

最後に、やなせたかしの高知野菜のキャラクターは皆さんが見てもいいと思いますか。

生徒： はい。

知事： もっと使いましょう。確かにスーパーで子供の食いつきがいいと聞きました。これでショートストーリーを作って、インパクトが大きいCMを作って、「おひさまの味、高知野菜」でPRの仕方を考えてみましょう。なぜ「おひさまの味」というか知っていますか。高知県は日照時間が全国第1位、降雨量も全国第1位となることがよくあります。たくさん雨が降って、たくさんお日さまの光を浴びているからおいしい野菜が取れます。食べ物がおいしいところ、「おひさまの味」と売り込もうとしています。

教育長： このテーマは、知事のために作ったようなテーマですね。（笑）以前、私は、この野菜11人きょうだいを名刺に使っていました。やはり子供さんに評判がいいです。実はその当時、私は中国に行きました。ある運河で小学生がひしの実を取って食べていたので、「おんちゃんにもちょうだいや」と言って、いただいて食べたんですが、何にも渡すものがないから、子供が喜ぶのではないかとこの野菜11人きょうだいが入った自分の名刺を見せると、「かわいい」とすごく喜びました。このショートストーリーの作成がうまくいけば、確かにインパクト大だと思いますので作戦として使っていったらと思います。ご提案ありがとうございます。